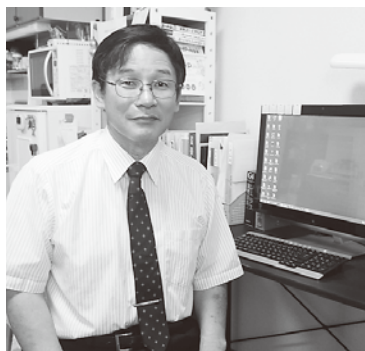


野田ソフトウェア工房 学校中心にHP作成40件 教員退職後、起業3年余で

ソフトウェア制作の野田ソフトウェア工房(尾道市美ノ郷町三成五四―一 サンパティーク二〇二、野田伸治社長)は、創業から三年余りでホームページの制作・納品数四〇件を達成した。

野田社長は勤務歴三二年の元教員。同社の業態は学校ホームページの制作が中心とほかに類例がない。「口コミで福山市内の学校からの依頼も増えている」と野田社長。「皆さんに喜んでいただけるホームページを作っていきたい」と意気込んでいる。



野田社長は1980年4月に広島市内の小学校に赴任、県教委勤務の三年間を除き三年間の教員生活を送った。2012年3月に尾道市内の小学校教頭を最後に退職。同年5月に同社を設立した。

県教委時代は情報教育推進を担当。県内の全公立小中高校でホームページを立ち上げる旗振り役も務めた。教育現場の課題を熟知しているとあって、設立当初の尾三地域中心から福山・府中地域、三次・庄原など県北へと次第に営業エリアが広がってきた。

予算に応じた低コストでの制作もOK。スマートフォンから閲覧できるようにしたり、運営をマニュアル化して学校の担当者でも操作しやすくなるなど、現場の要望に応える。「学校情報はホームページから得る時代。アクセス数が伸びるのを確認するのが楽しみ。学校の歴史に名を刻む喜びがある」と笑う。

問 0848・48・5705